



平成 29 年 4 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 大 東 銀 行
代表者名 取締役社長 鈴 木 孝 雄
(コード番号：8563 東証第一部)
問合せ先 取締役経営部長 村 上 浩
(TEL. 024-925-8395)

第四次中期経営計画の策定について

大東銀行（社長 鈴木 孝雄）は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日（3 年間）を計画期間とする「第四次中期経営計画」を策定いたしましたので、その概要をお知らせします。

【中期計画の概要】

1. 本部による渉外機能の強化

事業を営むお客様に対して、販路拡大、事業承継、M&A、事業計画作成支援などのソリューションを提供するため、法人営業戦略チームを本部内に設置し、営業店と一体となった本業支援活動を展開いたします。

2. ダイレクト営業チャネルの拡大

個人のお客様に対して、従来のインターネットバンキングサービスを拡大し、ローン商品や投資信託商品のサービス拡充を実施します。パソコンのほか、スマートフォン、タブレットなどの媒体での利便性を確保するほか、コンタクトセンターの新設によりソフト面でも安心して相談できる体制整備を図ります。

3. 営業店体制の整備

営業店の所在する地域特性やお取引先様の属性を考慮し、店舗規模や店質（法人店、個人店）に合わせた体制整備を実施し、お客様に最適なお提案活動を実践してまいります。

また、平成 28 年 5 月に更改した新システムの活用による効率化、集中化のほか、ダイレクト営業チャネルの拡大により捻出した時間を活用し、職員の人材育成により一層注力いたします。

4. 収益・リスク管理の高度化

日本銀行の「マイナス金利政策」導入など、経営を取り巻く環境が大きく変化するなか、リスク管理データを有効活用することで、適正な収益を確保してまいります。

以上

名称

第四次中期経営計画

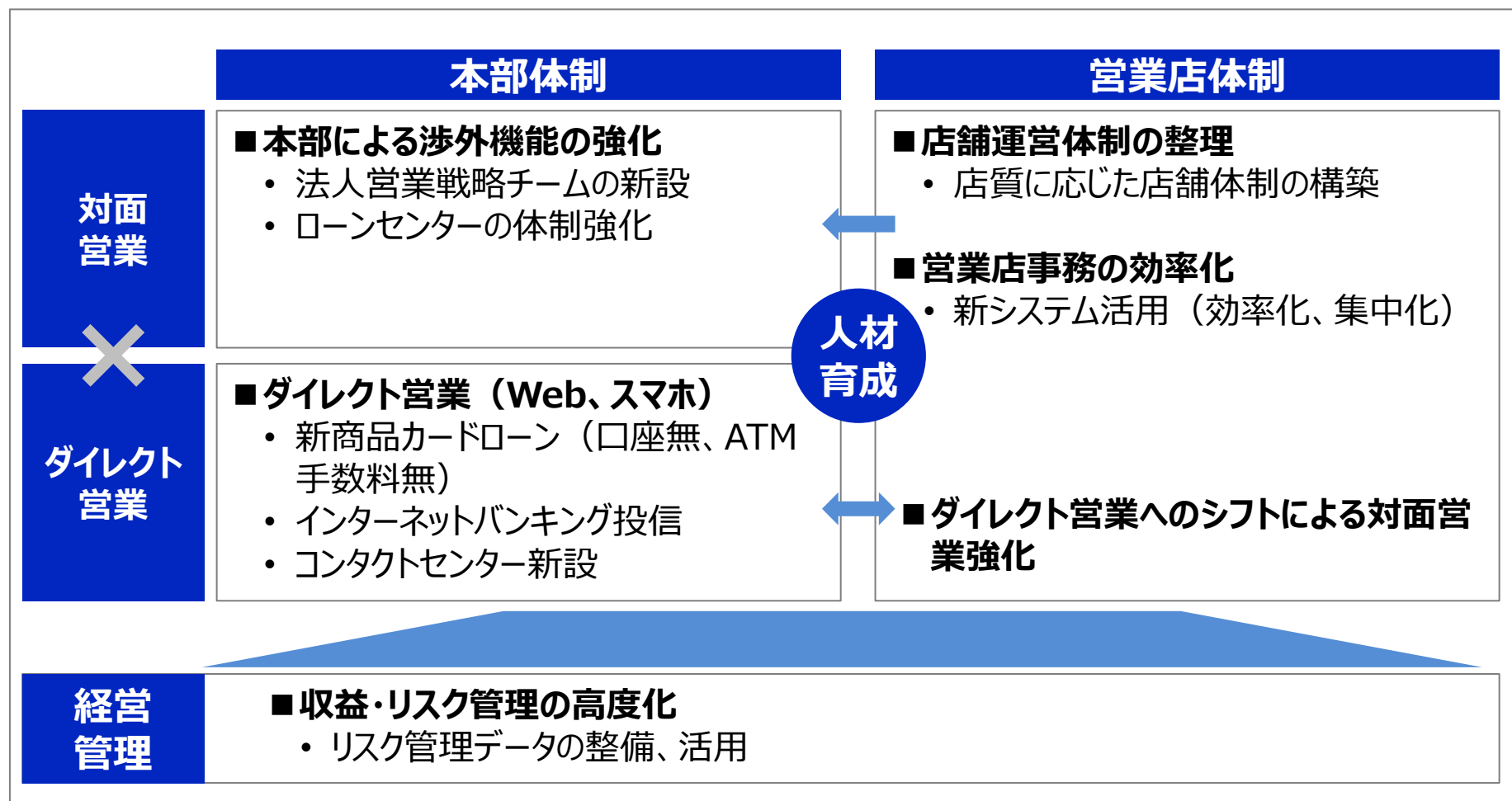
計画期間

平成29年4月1日～平成32年3月31日（3年間）

ビジョン

一人ひとりが自ら考え、お客さま本位の行動を実現する

コンセプト



第四次中期経営計画 – 目標とする経営指標 –

	項目	目標値	備考
財務目標	1. リテール貸出残高	400億円増加	H29/3期～H32/3期 (3期累計)
	2. 当期純利益 (連結)	10億円	H29/3期～H32/3期 (毎期)
経営戦略 管理指標	3. 付加価値提案件数	3,000件	H29/3期～H32/3期 (3期累計)
	4. 医療関連先成約件数	300件	H29/3期～H32/3期 (3期累計)
	5. ダイレクトチャネル契約件数	10,000件	H29/3期～H32/3期 (3期累計)